

その いずみの園だより 55

vol.

夏季号

2012.8.30



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、
いつまでも残る。その中で最も大なるものは
愛である。 コリントの信仰への手紙 I13:13

基本理念

神と人にと仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

- ①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団
介護保険総合ケアセンターいずみの園

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代)
<http://www.izuminosono.jp> E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

ISO9001 認証取得



2002年3月26日
高齢者介護及び
リハビリテーションサービス



住宅型 有料老人ホーム シニアレジデンス いずみの森

「井戸掘り蟬」



社会福祉法人 九州キリスト教
社会福祉事業団

理事
橋本高幸

「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲
みなさい、わたしを信じる者は、聖書に書いてあると
おり、その人の内から生きた水が川となって流れ出る
ようになる」
ヨハネによる福音書 7章38節

7月23日に気象庁は九州北部の梅雨明けを発表しました。
平年より数日遅れの梅雨明けで、いよいよ真夏の季節の到来
です。濃緑の木々の梢から蟬の歓喜の歌声が聞こえます。暗
闇の地底での重労働から解放され、眩しい真夏の太陽の恵み
を満喫し、感謝しても、感謝しても、感謝しつくすことので
きない、喜びの歌声です。

ファールブルは「蟻は働き者で、蟬は怠け者」という当時の
常識に挑戦し、蟬の名誉のために、その生態の研究を進めま
した。そして蟬は「神の恵の処遇に感謝して、その喜びを歌っ
ているのであって、怠けて歌っているのではない。」と主張し、
「その喜びは樹液の井戸掘りにつながった。」と語ります。

蟬はその鋭いストローで幹に穴を掘り、その井戸からのシ
ロップを甲虫や蝶、蜂などに提供し、更に彼らの渴きのため
に新しい井戸を掘り続けます。この井戸のシロップにあずか
るもの、としては蟻も例外ではありません。この井戸辺では、
蟬と蟻の常識は逆転しているのです。

キリストの恵に生かされた者は「その人の内から生きた水
が川となって流れ出るようになる」との恵の言葉は、シロッ
プの「井戸掘り蟬」によって実証されています。そして、私
共の福祉事業は、その蟬の井戸掘り作業そのものです。
神の恵に生かされ、豊かな「生きた水」を提供して止まな
いこの夏でありますようにとお祈りいたします。

2012年度 理事会・評議員会報告

第1回理事会・評議員会

2011年度事業報告、同年度会計決算報告について審議され、原案どおり承認されました。

5月29日(火)、評議員会は10:30から、稲益一男新評議員の紹介のあと、監事監査報告ののち、提出議案について了承され、また県の監査指摘を受けての経理規程改正、自家用自動車使用による旅費規則の一部改正及び新事業所の開設に伴う就業規則について趣旨の説明を行いました。

続く理事会は13:30から開催され、決算等議案の承認のほか、定款変更申請について同意、中央サポートセンターの事業開始状況や保育園からの年度初めの園児数の報告を行い、閉会しました。

第2回理事会・評議員会

議案は①めぐみ保育園の土地取得②聖愛ホームスプリングラー整備事業の指名業者選定③共同生活援助グループホームの整備費助成申請の各議案審議事項は、原案どおり承認されました。

7月27日(金)、評議員会は11時から、理事会は13時から提案3議案について審議、承認されたほか、障がい事業ワークショップの進捗状況、コールセンターの拡張整備予定及び法人内職員(現時点411名)研修会開催計画について事務局から報告があり、これらについて質疑ののち了解され、13時45分閉会しました。

(法人本部事務局)

2012年度各部の事業計画 (主な重点目標)

経営企画室	①障がい事業のスタートに向けての準備 ②「共生」型事業の研究	在宅サービス事業部	デイサービスセンターふれんど館 ①利用の安定と稼働の維持 ②アメニティの充実
総務部		デイサービスセンターふれあい館 ①売り上げ確保 ②サービス向上のための職員勉強会開催	デイサービスセンターかきぜ ①ご利用者の獲得、選ばれる事業所として取組強化 ②共生ケアの発展
総務課	①本決算・月次決算の分析とフィードバック ②コスト意識の啓発	デイサービスセンター北堀川 ①新規ご利用者の獲得(4月開所) ②専門職による講話・教室	児童クラブピーター ①豊かな人間性の育成を目指して ②地域と共に子育てサポート
栄養課	①特養入所者の栄養マネジメント実施 ②新メニューの研究・開発	障がい児日中一時支援事業所マルコ ①登録人数確保・利用児童の定着 ②安全な環境づくり	中央サポートセンター ①ご利用者の確保、地域との交流(6月開所) ②ケアの質の向上
研修課	①キリスト教福祉の理解とスピリチュアルケアの促進 ②職員や地域福祉人材の育成	グループホームベテルハウス ①その人らしさを誇りを持った暮らしを支援 ②地域、家族との交流	寄り合センターいずみ ①ご利用者の確保 ②その人らしさを誇りを持った暮らしを支援
いずみの森	①ご利用者、ご家族、待機者への情報発信 ②ご利用者満足度向上への取組	かきぜグループホーム ①自律的経営に向けた収入の安定 ②サービスの質の向上	介護保険サービスセンター ①地域包括ケアシステムの推進・構築 ②スーパービジョンの確立
特養事業部		介護保険サービスセンター ①地域包括ケアシステムの推進・構築 ②スーパービジョンの確立	地域包括支援センターいずみの園 ①地域包括支援ネットワークの拡充 ②適切な社会資源へのコーディネートの実施
相談課	①インフォームドコンセント(家族面談)の強化 ②長期、短期ご利用者の状況等の的確な伝達	シルバークラブ ・安否確認、相談助言、緊急時の対応などの支援の実施	障害者生活支援センターエマオ ①業務内容の充実 ②サービス等利用計画作成のシステム化
介護課	①職員の知識、技術力アップ ②嚙下リハビリによる経口摂取維持	訪問看護課 ①ご利用者に安心して選んで頂けるサービスの質の向上 ②ご利用者のADL・QOLを目指す	訪問介護課 ①新規ご利用者の確保 ②スタッフのスキルアップと介護技術の向上
看護課	①看護の質の向上 ②QOD(クオリティ・オブ・デス=臨終の豊かさ)を包含した看取り介護体制の構築	夜間対応型訪問介護 ①新規ご利用者の確保 ②24時間・365日 夜間の安心・安全のサービスの提供	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 連携型 ①新規ご利用者の確保(5月開始) ②24時間・365日サービス提供の体制とシステムの構築 ③新サービスの理解とマネジメント能力の取得
リハビリ課	①評価及び情報共有システムの確立・強化 ②スキルアップ、総合技術力の向上		
医療事業部			
クリニックいずみ	①医療情報の収集と提供 ②リスク管理の強化		
リハビリセンター	①勉強会の実施、自主訓練部分の自己管理 ②リハビリ機器の導入及び環境改善		
ケアハウス事業部			
聖愛ホーム	①安心安全生活への支援 ②施設活性化と地域交流への支援		

人事関係

2012年4月2日以降

- 昇格
 - 6月1日付 今吉日向子 デイサービスふれあい館 主任
 - 8月1日付 米光 宏恵 デイサービス北堀川 看護師
屋崎 玲子 デイサービスかきぜ 作業療法士
- 異動 役職者
 - 6月1日付 吉田 千鶴 かきぜグループホームけやき 師長
河野 和樹 デイサービスかきぜ 主任
須崎 敏治 中央サポートセンター 主任
- 異動 一般職
 - 6月1日付 佐藤 弘美 中央サポートセンター 看護師
芥川 弘美 中央サポートセンター 介護員
山本 尚義 中央サポートセンター 作業療法士
池上 美保 中央サポートセンター 介護員
田中 洋美 中央サポートセンター 介護員兼生活相談員
後藤 聖英 中央サポートセンター 介護員
馬場 靖子 デイサービスふれあい館 介護員
前田 静代 かきぜグループホームけやき 介護員
江田 康子 寄り合いセンターいずみ 看護師
古田 美樹 グループホームベテルハウス 介護員
- 新採用
 - 5月1日付 後藤 聖英 デイサービスふれんど館 介護員
○6月1日付 上羽 正美 中央サポートセンター 看護師
川上 治美 中央サポートセンター 看護師
稲数富美子 特養事業部看護課 看護師
末廣由美 総務部栄養課 管理栄養士
○6月25日付 八丁 和子 訪問介護課 ヘルパー
○7月1日付 中島 美和 特養事業部介護課 介護員
中寄 保子 特養事業部介護課 介護員
大西 とよ デイサービスかきぜ(ピーター) 指導員
白石佐奈枝 訪問看護課 看護師
高橋 典子 特養事業部介護課 介護員
○8月1日付 三原 美佳 デイサービスふれあい館 介護員
永吉 恵 訪問介護課 ヘルパー
川村小夜里 デイサービスふれんど館 介護員
(以上2012年8月1日まで)



九州キリスト教社会福祉事業団には3つの保育園があります。今号よりシリーズで紹介いたします。

名称：犀川のぞみ保育園

住所：福岡県京都みやこ町犀川本庄745



池上園長(右)と主な職員

犀川のぞみ保育園は、福岡県の北東部にある京都郡犀川町にあります。平成筑豊鉄道田川線犀川駅より約600m、みやこ町立犀川中学校そばにあり、日本基督教団犀川教会と併設している田園地帯に建てられた2階建ての保育所です。

1962年11月に、犀川教会の決議を経て開設した幼児保育施設「犀川愛児園」が前身で、1975年11月に当法人の「犀川のぞみ保育園」(定員60名)として認可を受けました。

現在、保育園の園児数は32名(定員40名)、放課後児童クラブの児童数は26名で、職員は14名です。現在の建物は1989年に建てられました。

開設当初から、開拓伝道としてこの地に入られた当法人の橋本高幸理事が長らく園長を務められ、昨年3月に退任されました。その後現在の池上信也園長(当法人評議員)が後任として赴任されました。

「保育目標」

保育標語「感謝、創造」を基軸に、乳幼児期における正しい生活訓練、豊かな情操の陶冶を通して心身の円満な発達に力を尽くし、キリスト教保育を進めます。

また犀川の豊かな自然を保育環境として取り込み、農村地帯ならではの保育活動を創造し、キリスト教精神に則りあらゆる差別を否定する鋭い感性を養い、健康でしなやかな体力作りに努力します。



園舎と園庭



児童クラブの風景

ひろ ば いずみの園広場

特養ご利用者ご家族の声



ヨハネ館3番地
豊田シズ子様のご家族
豊島賀都子様 かづこ

「不安な気持ちが一気に解消」

母を「いずみの園」に入所させて頂いてから8年になります。母は40代で交通事故に遭い、その後は精神的にも肉体的にも弱り、さらに父の死後は脳梗塞で倒れるなど病気の繰り返しでした。私も母の介護で精神的にギリギリのとき、「いずみの園」にご縁を頂きましたので、本当に救われる思いでした。

入所の日、笑顔で迎えてくれたスタッフの皆様を見て、不安な気持ちが一気に解消されたことを今でも覚えていいます。入所してからも、度々入院することがありましたが、その都度すぐに母の異変に気づいてくれ、早めの処置をして頂きました。入院するたびにわがままになる母に、嫌な顔ひとつせず対処していただき、頭の下がる思いです。このように穏やかな気持ちにして頂き、毎日感謝の気持ちで一杯です。「いずみの園」の全スタッフの皆様、本当にありがとうございます。



児童クラブご利用者ご家族の声



児童クラブ「ピーター」
林 琴美ちゃん
林 浩太郎くん
のご家族 林 和英様 かづえ

「子供がいて、お年寄りがいて」

子供達が児童クラブ『ピーター』に通うようになってから、今年で3年目になります。
保育園生↓幼稚園生↓小学生&児童クラブ生へと経て、子供達の環境の移りかわりに伴い、仕事を持つ親としては一生懸命ついていって、やっと少し活動内容にも慣れてきたのかなというところでは、子供の小さい頃って本当に目まぐるしいものです。そうやって立ち往生している不器用な母親である私の横に寄り添って下さっているのが児童クラブです。そしてその存在はとても大きなものでした。
うちは自営業で父母共に働いていますから、子供の帰宅時にはほとんど誰も家にいません。ですがピーターには「ただいま」といって帰ると「お帰り」と笑顔で迎えてくれる家族のような指導員の皆さまがいます。毎日の宿題や遊びも見守って下さいます。本当に有難く、心強いものです。また、デイサービスの利用者との交流も大変良いものだと思います。

子供がいて、お年寄りがいて、働く大人がいるというあたりまえで理想的な環境の中で過ごしていくことは大変貴重な経験であると考えています。
子供達の生活が日々平穏で安心できる環境にあるということが今の私たちの小さな幸福です。サポートしていただいている皆様様に心から御礼申し上げます。

